

質 疑 一 般 質 問

質問 伊豆山土石流災害警戒区域解除後も、住民説明会や情報提供を継続し不安の声に寄り添っているか伺う。

答弁 地域の皆様への住民説明会や情報提供については、源頭部周辺における対応状況等、必要に応じ行っている。復旧に向けた地域との対話の場の取組として、令和7年度から、今まで開催していた説明会に加え、市担当者や地域の皆様による、復旧に向けた相談や意見交換の場として、

伊豆山復興相談窓口の開設や地区別意見交換会の開催を予定している。

質問 消防車と救急車が同時出動するPA連携出動は、通報内容より心肺停止状態にある方々の救命率向上を図ることを目的として平成16年10月から運用を開始しているがその効果は。また救急車が到着するまでに速やかで適切な応急手当をすることが大切だが、市民や事業所への応急手当講習の実施状況は。

答弁 いち早く救急隊とともに消防隊を投入することは、救命率向上を図るうえで重要であり、PA連携出動の効果は高いと考える。応急手当講習については、令和6年度に普通救命講習を13回開催し254人、その他町内会、事業所等の要望により、救急講習を17回開催し、611人が受講し、全体で865人が受講した。

現在の逢初川源頭部の安全性の評価について 救命率の向上のための取組について



ごとう ゆういち
後藤雄一 議員

公明熱海

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会

(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 交通安全対策
- 避難所の通信設備

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



一般廃棄物処理施設広域化について

質問 一般廃棄物処理施設広域化について①ごみ処理広域化に関する検討結果と現状②今後の課題とスケジュール③新清掃工場の建設候補地。以上3点について伺う。

答弁 ①三島市、裾野市、函南町、長泉町・本市の3市2町によるごみ処理広域化等連絡会を設置し、令和6年度中に12回開催するとともに、令和7年3月25日に関係市町の副市長、副町長によるごみ処理広域化検討協議会を開催した。一部自治体より候補地が決まらなければ広域化参加の判断ができないとする意見があり、協議の結果、令和8年度の早期までにごみ処理広域化に参加する意思の確認と決定をすることに変更さ

れた。②令和8年度前半までに建設候補地の検討、広域化に参加する市町の枠組の決定、広域化の基本合意書の調印となる。令和8年度早期の枠組決定後、令和9年度にかけ組織体制の決定、基本構想の作成及び循環型社会形成推進地域計画策定が主となる。令和9年度以降については基本計画等をはじめ、※環境影響評価、実施設計・建設工事等の実施を経て令和18年度中の供用開始を目指す。③建設用地として、県道11号熱海函南線の笹尻交差点付近に位置する熱海市公用地を候補として考えている旨を伝えた。



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから

